

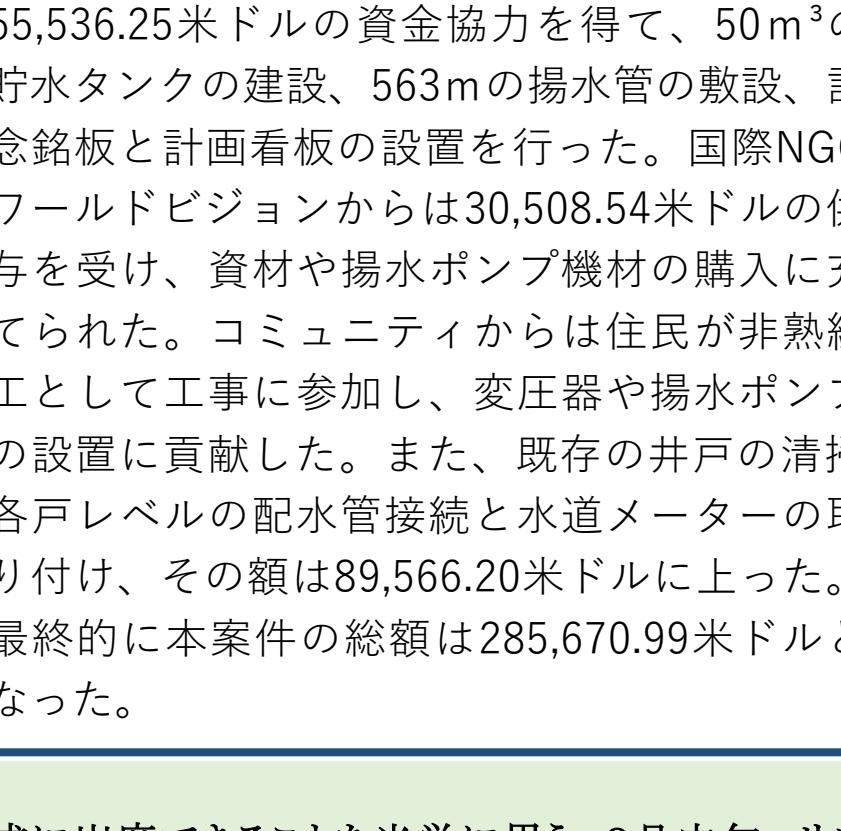
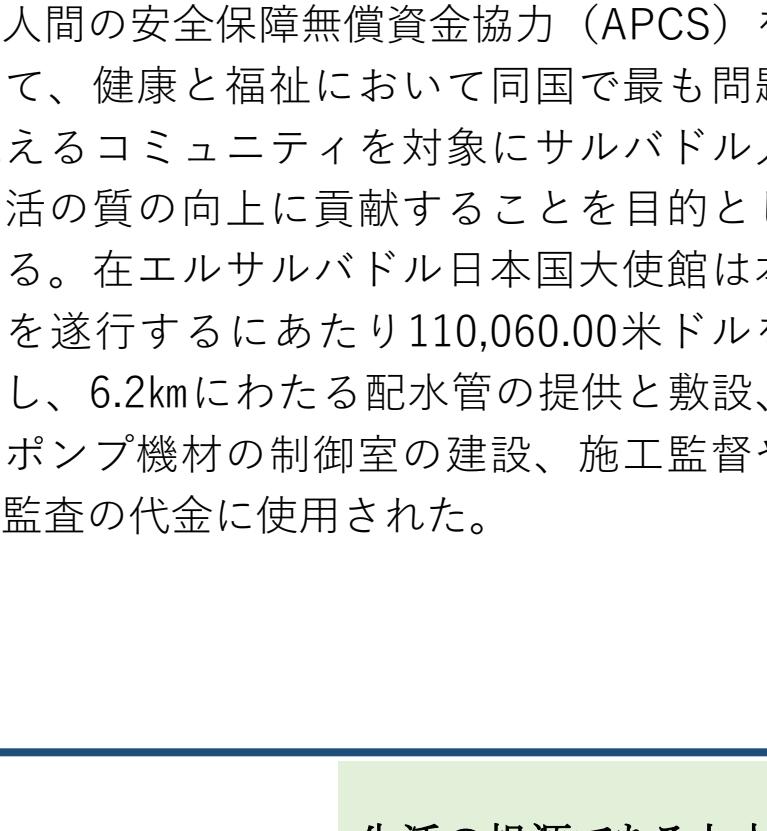


令和5年度対エルサルバドル共和国 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「サンセバティアン市サンフランシスコ村 上水道施設整備計画」引渡し式の開催

2025年10月15日、星野芳隆駐エルサルバドル日本国大使は、サンセバティアン区に所在するサンフランシスコ村上水道施設整備計画の引き渡し式に出席した。式典には、サムエル・カリージョ北サンビセンテ市市長、ロベルト・デ・ヘスス・アリアス・アルファロサンフランシスコ村落開発協会会長、ロベルト・ビジャコルタワールド・ビジョンエルサルバドル代表らが地域住民とともに参加した。

今回完成した上水道施設により、サンフランシスコ村に住む116家族360人及び初等教育学校の先生や生徒45名が直接かつ安全に飲料水を利用できることになる。同コミュニティでは、かつては各家庭に上水道が引かれておらず、多くの住民は日に2、3時間かけて、河川や泉あるいは共同井戸を利用し洗濯や風呂さらに飲み水まで日常の様々な作業を行っていた。

北サンビセンテ市サンセバティアン区
サンフランシスコ村上水道施設



♦エルサルバドルの国樹であるマキリシュアをエルサルバドルと日本の友好と協力の証として植樹した。

♦北サンビセンテ市サンセバティアン区サンフランシスコ村上水道施設での開栓。

日本大使館はこうした状況を踏まえ、草の根・人間の安全保障無償資金協力(APCS)を通じて、健康と福祉において同国で最も問題を抱えるコミュニティを対象にサルバドル人の生活の質の向上に貢献することを目的としている。在エルサルバドル日本大使館は本計画を遂行するにあたり110,060.00米ドルを供与し、6.2kmにわたる配水管の提供と敷設、揚水ポンプ機材の制御室の建設、施工監督や外部監査の代金に使用された。

北サンビセンテ市サンセバティアン区から55,536.25米ドルの資金協力を得て、50m³の貯水タンクの建設、563mの揚水管の敷設、記念銘板と計画看板の設置を行った。国際NGOワールドビジョンからは30,508.54米ドルの供与を受け、資材や揚水ポンプ機材の購入に充てられた。コミュニティからは住民が非熟練工として工事に参加し、変圧器や揚水ポンプの設置に貢献した。また、既存の井戸の清掃、各戸レベルの配水管接続と水道メーターの取り付け、その額は89,566.20米ドルに上った。最終的に本案件の総額は285,670.99米ドルとなった。

駐エルサルバドル日本国大使
星野芳隆

サムエル・カリージョ
北サンビセンテ市長

ロベルト・アリアスサンフランシスコ村落開発協会会長

ロベルト・ビジャコルタワールドビジョン
エルサルバドル代表

ロベルト・ビジャコルタワールドビジョン
エルサルバドル代表